

「世界をリードするサステナブルシティ」実現に向けた戦略策定支援業務委託 評価基準及び配点

No.	評価項目	評価細目	配点
1	調査・分析能力の有無	(1) 独自のデータ収集方法や分析手法・ツールなどを用いて、世界の中でも、特にサステナブルシティとして評価されている都市の調査・分析を行い、アウトプットすることは可能か。	10
		(2) 北九州市の強み(ポテンシャル)、弱み(課題)、機会(可能性)、脅威等の特徴を分析し、認識しているか。	10
		(3) 調査対象とする都市や地域とのつながりを有している、または今後確保することが可能か。	10
2	アドバイザーボードの運営	(4) 有識者の選定に対して、明確な根拠を示すことができるなど、選定に係る基準が考えられているか。	10
		(5) 有識者から意見を聴取するにあたって、戦略策定に効果的な意見を引き出す能力(質問内容や聞き方の工夫等)が備わっているか。	10
3	戦略策定等支援	(6) 有識者から集約した意見について、骨子、素案、最終案と、戦略策定の段階に応じて効果的に反映できるよう、意見を整理する能力が備わっているか。	10
		(7) 有識者から得た意見のみならず、市が別に提供する意見・考え方や、受託事業者自身が予め持つ知識等を、戦略策定に効果的に反映できるよう、それらを整理する能力が備わっているか。	10
		(8) 本戦略を国内のみならず、グローバルに対しても、効果的に展開できるプランニングができているか。	10
		(9) 戦略の記載内容や構成、レイアウト、デザインなどについて、独自性を感じられるものとなることが期待できるか。	10
4	その他	(10) 行政計画の性質及び本件各業務を理解し、実現可能な能力を有しているか。報酬の支払いなど、細かな業務についても対応可能か。	10
		(11) 業務コストに妥当性はあるか。予算の範囲内で、適切な積算がなされているか。(業務内容に応じた人件費や報酬等が含まれているか。)	5
		(12) 業務体制及びスケジュールは、事業実施に適切か。実現可能なものであるか。	5
			110